

Noto PLUS

12

おいしいお米と豊かな環境を 子どもたちへ届けます

11月19日：特別栽培米コシヒカリ「能登姫」贈呈式
柳田保育所



広報のと 第178号

令和元年12月1日発行

発行：能登町 編集：広報情報推進課
〒927-0049 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1-9-7番地1

TEL: 0768-62-10000
URL: <http://www.town.noto.lg.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp

その九

のちのちの 歴史と文化のトビラ

■ あえのこと

12月5日、家の主人は田の神を迎えるため、松の木が立てられた水田へ向かいます。木の根元を鍬で掘り、二礼二拍手一礼したあと、神に豊作に対する礼と家で休息をとっていただくよう述べます。松と一緒に置いてある榊さかきに神が宿っているため、それを丁寧に家へ運ぶ（案内をする）こととなります。主人はすぐ横に神様がいらっしゃるように振る舞い、目が悪いとされる神に段差などがあると注意を呼びかけます。

家の中ではまず囲炉裏端で休憩してもらい、その後30分ほど入浴。料理の準備が整ったら奥の座敷へ案内し、饗応のご膳の前で神へ豊穰に対する礼を述べます。そして、主人は神の座席近くで、料理の内容を一つひとつ説明するのです。料理はその年とれたもので作るのが本来ですが、時とともに食事の内容に意味をもたせるようになり、小豆はまめま



昭和50年代の様子

■ あえのこと

奥能登地方で古くから行われている神事。「奥能登のあえのこと」という名称で昭和52年（1977）国重要無形民俗文化財に指定され、平成21年（2009）にユネスコの世界無形遺産に登録。

同町教育委員会事務局 ☎ (72) 2509

鵜川いどり祭り

11月1日から8日まで鵜川の菅原神社で行われる八講祭。7日夜には餅の出来具合をいどる神事が行われました。今年の当元は七見地区と小垣地区。餅が氏子らの前に運ばれると一同は注意深く観察し、言葉巧みに色合いや形を非難します。やがて神職が仲介に入り、餅の出来栄について了解を受け、来年の当番へ引継ぎました。祭りは、500年以上前に決められた仕組みが現在まで踏襲されています。



神事が終わると餅が配られた



かけあいを見届ける神職



大鏡餅を前に、氏子らのいどりに熱が入る



「広報のと」12月号の印刷費は一部当たり28円です。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。E3PA：環境保護印刷推進協議会